

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間:2024年12月

結果公表日:2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 5名回答、回答率 100%

保護者様: 21名回答、回答率 87%

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

- ・移転により、部屋数が増え適切な支援がしやすい環境となっている。
- ・課題プリントや宿題に取り組むスペースと余暇スペースとで分けて使用している。
- ・気持ちが不安定になった際には落ち着ける空間を提供できている。

### ○業務改善

- ・業務前ミーティングや個別での相談、研修等を通して業務改善を考える機会は都度設ける事が出来ている。
- ・保護者とのやり取りをミーティングで共有し、改善策を考えることができている。
- ・毎年実施している評価表により、保護者の意向を確認し改善に繋げている。

### ○適切な支援の提供

- ・法人内での研修を受講している。また外部研修の受講も出来る体制は整っている。
- ・個別支援計画を職員や保護者に説明する機会を設け、個別支援計画に沿った支援が提供出来る様に努めている。
- ・保護者からのアセスメントを基に、他職員らと情報共有し計画を作成するよう努めている。

### ○関係機関や保護者との連携

- ・サービス支援会議や関係機関との会議については、なるべく全体での共通認識や意見をまとめたうえで参加できるよう努めている。
- ・保護者を通して連携を行ったり、保護者の同意のもと学校と情報共有を行うなどの支援体制に努めている。

### ○保護者への説明責任等

- ・放課後等デイサービス計画については、子どもの苦手なども確認しながら保護者ニーズとのバランスを考えて計画を作成するよう努めている。また、更新時には面談を実施したり、送迎の際に時間を作り家族支援として話し合いを行うなどで工夫を行っている。

### ○非常時等の対応

- ・マニュアルを策定し、訓練なども実施している。
- ・定期的な虐待防止研修を実施し、防止に努めている。
- ・月1回避難訓練を実施し、避難方法、避難の際の注意点、避難経路などの確認を行っている。

# 保護者様のご意見

## ○環境・体制整備

- ・『生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか』の項目について、大多数の方に「はい」と回答頂いたが、子ども達が過ごす部屋を見ていないので、わかりません。」という意見も頂いた。
- ・『職員の配置数は適切であるか』の項目について、「スタッフさんが新しく入られた時に、専門性を知りたい」という意見を頂いた。

## ○適切な支援の提供

- ・『放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか』の項目においては、9割の方から「はい」とご回答いただいた。

## ○保護者への説明等

- ・『日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができているか』という項目においては、回答をいただいた全ての方から「はい」とご回答いただいた。

## ○非常時等の対応

- ・『緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか』については「どちらともいえない」との回答もあった。

## ○満足度

- ・『子どもは安心感をもって通所しているか』の項目においては、9割の方から「はい」との回答をいただき、「職員に特性を理解して接していただいているので、自分を表現できる場となっている」といったご意見をいただいた。
- ・『事業所の支援に満足しているか』の項目においては、回答者の8割の方から満足とのご回答を頂いた。

# 昨年度の振り返り

## ○今年度の取り組む具体策

- ・教室職員でブログ作成担当者を月ごとで定め、月1件以上のブログ更新を行う。
- ・毎月取り組んでいる避難訓練の内容を報告するとともに、緊急時対応マニュアルを作成し、保護者周知を行う。
- ・教室内の職員紹介コーナーや保護者会で各職員の経験や専門性を周知することで、ニーズを踏まえた各種連携相談等の計画的な専門的支援を実施していく。

## ○改善できた点・まだ残る課題

- ・ブログ作成については7月以降月1件以上のブログ更新は取り組むことができなかった。
- ・安全計画書やBCPマニュアルの作成、それに伴う研修に取り組むことができたが、アンケート結果からも全ての方に適切に周知ができていない為、周知方法の改善を行う。
- ・教室内には職員紹介コーナーを設けたが、保護者の方への周知は徹底できていない。紙ベースでの職員紹介等を行う。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・移転に伴い部屋数が増えたことで、児童の様子に応じて安心して過ごすことができる環境を提供することができている。
- ・法人内での研修を通して職員の専門性の向上、またミーティングをもとに職員間で支援方法の統一を図ることができている。

### ○改善点

- ・職員体制や専門性について保護者への周知が徹底できていない。
- ・緊急時対応については、安全計画書の作成やそれに伴う法人内での研修も実施できているが、保護者への周知方法に改善が必要。
- ・教室内の環境や支援内容について、ブログやニュースレターを通して発信を行ったり、療育参観の実施など、より保護者に把握していただける方法での周知を行う。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・緊急時の対応について、保護者周知の徹底を行う。
- ・支援内容や利用者の過ごし方について保護者へ可視化できるよう努める。
- ・職員の専門性や経験を明確にし、ニーズを踏まえた計画的な専門的支援を実施していく。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・毎月実施している避難訓練の報告だけでなく、事業所にて作成した安全計画書についてのお便りの配布と保護者周知を再度行う。
- ・毎月1件のブログ更新を行い、活動プログラムの取り組み内容の発信を行う。
- ・教室職員の紹介を教室内に掲示するだけでなく、紙ベースでも配布し保護者への周知の徹底を図る。